


職員からのメッセージ

～～活躍する職員の声～～



ひと くらし みらい のために

 厚生労働省

山形労働局

はじめまして、山形労働局のイメージ
キャラクターの「ヤッピー」です。



皆さんに労働局の仕事を

「知ってもらいたい！ 伝えたい！」 と思い、

山形労働局の職員に、ヤッピーがインタビューをしました。

インタビューした内容をご覧ください、労働局の仕事についての理解
が深まり、業務に魅力を感じていただければ嬉しいです。



Message # 1

所属：山形労働基準監督署
労災課労災係
採用：令和4年度

Q. 現在担当している仕事について教えてください

A. 大きく分けると、労災補償業務と労働保険の適用徴収業務を担当しています。労災補償業務では、主に仕事中や通勤中の負傷・疾病に対する労災保険給付の審査や調査をしています。時には負傷した現場に出向いて調査をすることもあります。労働保険の適用徴収業務では、労働保険の加入手続きに必要な届出や、労働保険料が正しく算出されているかなどを審査しています。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 休みの日は野球に行ったり、釣りに行ったりして楽しく過ごしています。夏季休暇などもあるので、長期休暇を取得して毎年旅行にも行っています。長期的な計画を立てることが可能で、生活のリズムが作りやすい環境なので、仕事と私生活のバランスをとって長く仕事を続けることができると思います。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします！

A. 職場の皆さんは優しく丁寧に指導して下さるため、とても働きやすい職場だと思います。長期にわたる公務員試験では不安ばかりだと思いますが、積極的に様々な説明会に参加し、少しでも労働行政に興味を持っていただければ嬉しいです。皆さんと一緒に働ける日が来ることを心待ちにしております。

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 黙々と一人で事務作業を行うイメージがありましたが、実際に働いてみて周りの方とコミュニケーションをとって相談しながら業務を進めていくことが多いと思いました。また、悩んだり迷ったりしたことがあったら、先輩や上司の方々が優しく親身になって相談にのってくれるので、とても働きやすい環境で仕事ができていると感じています。

Q. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

A. 人と話すことが好きな方、相手の話にじっくり耳を傾けることが得意な方は、労働局職員に向いていると思います。公務員というと、机上での事務作業が中心と思われがちですが、労働局は公務員の中でも窓口業務の機会が多く、日々幅広い年齢層の方からご相談などを受けます。私自身、人と話すことが好きだったので、現在の働き方はとても自分に合っていると感じています。



Message # 2

所属：米沢労働基準監督署
労災課労災係
採用：令和2年度

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 実際に働いてみて、職員同士で声を掛け合いながら業務を進める雰囲気があり、安心して仕事に取り組めると感じました。問題や疑問が生じた場合には、周囲に支えてもらいながら職員一体となって仕事に取り組むことができ、それが自身の成長にも繋がっていると思います。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. どの職場においても、様々な休暇が取りやすい雰囲気があります。私自身も、毎月1日以上有給休暇を取得し、プライベートの時間を確保してリフレッシュすることを心がけています。オンオフのメリハリを大事することで、業務にも一生懸命励むことができ、効率化に繋がっていると感じます。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします！

A. 労働行政の業務は多岐にわたり、人々の生活の基盤である「労働」を様々な面からサポートすることができ、日々やりがいを感じています。労働行政に少しでも興味を持っていただけたら幸いです。皆さんと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしております。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 相談者一人ひとりの話を丁寧に聞くことを大切にしています。状況や思いをしっかりと受け止めた上で、不安に寄り添いながらその方にとって最善の選択肢を分かりやすく伝え、安心していただけるよう、信頼関係を築けるような対応を心がけています。その為にも、日頃から制度等の勉強にも励んでいます。

Q. 労働行政の役割を教えてください。

A. 労働行政は働く人が安心して仕事に取り組める環境を支える役割があります。その中でも私が携わっている労災保険の給付は、仕事や通勤中のケガや病気に対して給付を行い、生活の不安を和らげるという大切な役割を担っています。日々、やりがいと責任を感じながら業務に取り組んでいます。



Message # 3

所属：庄内労働基準監督署
労災課労災給付調査官
採用：平成18年度

Q. 公務員を志望した理由を教えてください

A. 公務員を志望した理由は、利益を最優先とせず、公正な立場で社会に貢献できる仕事に魅力を感じたからです。制度や法律を通じて人々の生活を支え、安心して暮らせる社会づくりに関われる点にやりがいを感じました。また、安定した環境で長期的に責任ある役割を果たしたいと考え、志望しました。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 仕事で苦労したこと、つらかったことは、相談者の強い不安や怒りを受け止めながら、法令に沿って冷静に対応する点です。全ての要望に応えられない場面もあり、説明の難しさや判断の重さに精神的な負担を感じることがありました。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力を教えてください

A. 労働局の仕事は、労働者の権利を守り雇用の安定を支える社会的意義の大きさがやりがいです。相談者に寄り添い、解決に導けた時の達成感があります。安定した公務員の立場で、法律知識を活かし地域社会に貢献できる点も魅力です。

Q. 山形労働局で働いてみた印象・良かったと思うことはありますか

A. 労働局で働いてみた印象は、相談者一人ひとりの事情が重く、責任の大きい仕事だと感じた点です。制度や法令に基づき公正に対応する難しさはありますが、感謝の言葉を直接もらえる場面も多く、社会の役に立っている実感を得られました。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. プライベートとの両立は、比較的しやすいと感じました。業務時間が明確で、残業も調整されているため、仕事後や休日の予定を立てやすいです。有給休暇も取得しやすく、心身のリフレッシュができることで、安定して仕事に向き合える環境だと感じました。



Message # 4

所属：山形労働局
労働基準部 労災補償課
地方労災補償監察官
採用：平成7年度

Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 過去に通算して4年間、職員採用の業務に携わった経験があります。採用活動で初めて出会った人たちは、当時就職先として様々な選択肢があったはずですが、今や労働局、監督署、ハローワークの各部署で中心的な存在として活躍しています。そんな姿を見ると本当に頼もしく、自分自身のモチベーションアップにも繋がっています。

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 公務員全般に言えることかもしれませんが、人事異動は環境が大きく変わります。私の場合は外部の組織へ出向した期間もあり、初めの頃は苦労もしましたが、新たな刺激、出会い、人とのつながりを得ることができました。今となっては自分自身の大きな財産となっています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします！

A. 「仕事へのやりがい」と「働きやすさ」は、一見簡単に両立できそうで実は中々難しい問題でもあります。公務員には法律に基づいた様々な枠組みがありますが、組織として培ってきた伝統やノウハウを大切にしながらも、新しい考え方や柔軟な発想を取り入れることが必要です。ぜひ皆さんの力を貸してください。一緒に仕事ができる日を楽しみにしております。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 山形労働局は「人」と直接関わる機会が多いため、まずは「聴く」ことに注力し、その後可能な限り対話や説明することを心がけています。また、労働局の仕事は組織対応（チームワーク）が求められる場面が多いため、自分の考えを持ちながらも独りよがりにはならず、周囲の意見を必ず参考にすることが心がけています。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 仕事をして収入を得ることはもちろん大切ですが、大切な時間は他にもあるはずです。働きやすい職場の指標で年次有給休暇の取得がよく用いられますが、山形労働局はそれが実践できる職場です。旅行、子育て、推し活、ぼんやりする時間、平日にこそ仕事を離れ、セルフケアを図ることができています。



Message # 5

所属：酒田公共職業安定所
専門援助部門 職業紹介係
採用：令和7年度



Q. 山形労働局を志望した理由をおしえてください

A.就職活動中に新卒応援ハローワークを利用した際、相談員の方がとても親身になって話をきいてくださり、私も就職支援に携わってみたいと思ったことがきっかけです。また、業務説明会や官庁訪問の際、実際に働く職員のみなさんの雰囲気を感じ、他の官庁より働きやすそうな印象を受け労働局を志望しました。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A.私は、高校や大学等の新卒者の方の就職をサポートする学卒業業務を担当しています。年代の近い方との相談がメインになるため、悩み事を安心して話せるような雰囲気づくりを心がけています。また、学卒業業務は就職内定状況をまとめる報告や同時並行でイベントの企画・運営を進める機会が多いので、計画性をもって仕事を進めることを大切にしています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします！

A.山形労働局は、優しく穏やかながらも気さくに話しかけてくださる職員がたくさんいます。また、困ったことがあっても気軽に相談しやすい環境が整っているので、働きやすい職場だと思います。「山形のために働きたいが、どの行政機関で働きたいか迷っている」という方は、ぜひ山形労働局を選択肢の一つとしていただければ嬉しく思います。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A.毎月1日以上の子次休暇（マンスリー休暇）の取得が推奨されており、休暇を取りやすい環境が整っています。また、水・金曜日は定時退庁を徹底しており、残業時間も少ないので、プライベートの時間を確保しやすいです。休日は運動、温泉、サウナでリフレッシュしています。休暇を取ってライブに参戦することも仕事のモチベーションにつながっています。

Q. 労働局職員に必要なスキル・資質を教えてください

A.ハローワークは相談業務がメインですが、どの部署にいても、相手の話にしっかり耳を傾けることが得意な方は向いていると思います。学卒業業務では学校関係者や自治体職員と連携する機会が多いほか、事業所訪問や企業説明会など、企業の方と接する機会も多いので、様々な立場の方と円滑にコミュニケーションを取るスキルが求められると思います。



Message # 6

所属：山形公共職業安定所
職業相談第二部門
職業紹介係
採用：令和6年度



Q. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

A. 労働局には名前から堅そうなイメージがありましたが、実際は優しい先輩方ばかりで気軽に相談することができます。また、山形労働局はワークライフバランスを重視しており、年間16日以上の有休取得が奨励され、毎週水曜日・金曜日は定時退庁が呼びかけられるなど、充実したプライベートを過ごすことができます。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 「人の役に立てる」というやりがいがあります。労働局以外にも人の役に立てる職業は沢山ありますが、「就職」という人生において重要な選択を支援し、新たな一歩を踏み出すお手伝いができるのは労働局だけの魅力だと思います。相談者との距離も近いので、信頼関係を築きながら支援できることも魅力だと思います。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします！

A. 山形労働局の強みとして、私は特に「ワークライフバランス」の面で強く実感しています。人の一生に関わる労働の面から支援し、また、仕事に有用な資格を取得できたり、積極的に休暇取得ができるので、「自己実現したい」「社会貢献したい」など様々な働きやすさにあふれた職場です！

Q. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありますか

A. 幅広く知識の習得を求められることです。職業相談は、雇用保険やその当時の労働市場など相手が求めるニーズに合わせ、多様な知識が求められる業務です。最初は先輩職員の相談に同席して対応方法を学び、相談に慣れていくうちに一人でも対応できるようになりましたが、困ったときは周囲に相談することで徐々に知識を身につけています。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 職業相談をする上では、相手の話をよく聞き受け止めることです。相談者が抱えている背景は人それぞれ異なります。そのため、相談時は自分の主観を話すのではなく、相手が話すこと・感じたことを受けとめ、相手が安心して話せる雰囲気作りを意識しています。相手から「話しやすい」「相談して良かった」と言われると非常に嬉しく感じます。



Message # 7

所属：寒河江公共職業安定所
管理課業務主任
採用：平成28年度



Q. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

A. 労働局職員に必要なスキルや資質として、特別な資格や専門スキルは必ずしも求められません。一方で、求職者や企業、関係機関など多くの人と関わる仕事であるため、人と関わることにやりがいや喜びを感じられる方は、この仕事にとっても向いていると思います。相手の話に耳を傾け、寄り添いながら支援できる姿勢が何より大切だと感じています。

Q. 山形労働局の職員として助かっている制度はありますか

A. 山形労働局の職員として助かっている点の一つに、年次有給休暇を取得しやすい職場風土があることが挙げられます。私は育休を取得したのですが、育休を取得した後も、遠慮なく有休を使える雰囲気があり、仕事と家庭を無理なく両立しやすいと感じています。また、ポジションごとに本省や局主催の研修が充実しており、業務に必要な知識を段階的に学べる点も心強いです。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力を教えてください

A. 山形労働局で働く魅力は、自分の考えや問題意識を業務に反映しやすい点にあります。本省の業務取扱要領を基にしつつ、合同企業説明会や各種セミナーの企画・運営、SNS等を活用した広報活動などを通じて、「こうしたほうがよい」という思いを形にできます。求職者や企業に寄り添った支援を実践できることに大きなやりがいを感じます。

Q. 仕事で苦勞したこと、辛かったことはありますか

A. これまで、雇用保険や職業訓練、高校生・大学生への就職支援、労働市場統計の作成・分析など幅広い業務を担当してきました。その都度、業務の流れや関係法令、制度を理解することに苦勞しましたが、経験を重ねる中で、労働行政に関する知識がつながり、点と点が結びつく面白さを感じています。どの業務にも共通する考え方があり、理解が深まることにやりがいを感じています。

Q. 他の仕事との違いはどんなところで すか

A. 他の官公庁と比べた場合の特徴として、労働局は労働行政という分野で、専門性の高い知識を深められる点が挙げられます。県や市などの関係機関と連携して業務を行うことはありますが、国として制度や施策を運用する立場から国民や事業主を直接支援でき、感謝の言葉を直接いただける機会がある仕事は、そう多くはないと感じています。



Message # 8

所属：村山公共職業安定所
管理課 雇用保険給付調査官
採用：平成26年度



Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力は どんなところですか

A. ハローワークでは、求職者や事業所の方など多くの方と関わります。窓口対応の中で「相談してよかった」「ありがとう」と感謝の言葉をいただいた時に、大きなやりがいを感じます。また、雇用や労働という人生に深く関わる分野で、経験を積みながら専門性を高め、人の役に立てることも大きな魅力です。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 土日・祝日はしっかり休むことができ、有給休暇も月1日以上を目安に継続して取得しています。休日は趣味や家族との時間を過ごし、心身をリフレッシュしています。オン・オフの切り替えがしやすい環境であるため、仕事にも前向きな気持ちで取り組むことができます。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします！

A. 労働行政の業務は幅広く、最初は覚えることも多いですが、その分さまざまな経験を通じて専門性を高めることができます。また、多くの方の支えとなれる、やりがいの大きい仕事です。困った時には相談しやすい職場でもありますので、安心して挑戦してください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

Q. 仕事で苦勞したこと、辛かったことはありますか

A. 業務の中では、説明会やセミナーなどで大勢の前で説明を行う機会もあります。私自身、初めて担当した際は緊張で頭が真っ白になり、思うように説明できなかった経験があります。しかし、事前準備や経験を重ねることで少しずつ自信が付き、成長につながったと感じています。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 仕事を進める上では、周囲とのコミュニケーションを大切にしています。来所者の方への丁寧な対応はもちろん、職員同士でも情報共有や相談をこまめに行うことで、円滑に業務を進められると感じています。一人で抱え込まず、周囲と連携しながら取り組むことを意識しています。



Message # 9

所属：鶴岡公共職業安定所
求人・職業紹介部門
統括職業指導官
採用：平成18年度



Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力は どんなところですか

A. 困っている人、悩んでいる人の力になれたと感じたときがやりがいを感じる瞬間です。例えば、辞めた職場での辛い体験に目の前で涙する人がいます。私たちはそのときに相手の立場になって話を聴き、気持ちに寄り添います。それだけかと思われるかもしれませんが、心が落ち着いて「来て良かった」と言って帰ってもらえたときにここで働く意義を実感します。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 土・日・祝日、夏季休暇、年末年始休暇に年次有給休暇の組み合わせでしっかり休みを取得してリフレッシュができる職場です。また、子育て世代には育児休業を取得しやすい環境や、子どもの看護や行事等で使用できる特別休暇などもあり、色々な面で助けられています。

Q. 労働行政の役割を教えてください

A. 「人と人をつなぐ」、「人と企業をつなぐ」、「人の暮らしを支える」、「人の未来を支える」。抽象的な言葉にはなりますが、私なりに思い浮かんだワードです。時代とともに役割が変化していくこともあるかもしれませんが、形を変えたとしても「人」をつなぎ、また、支える役割のある行政であり続けて欲しいと思いました。

Q. 仕事で苦勞したこと、辛かったことはありますか

A. 山形労働局の職員といっても、実に多様な仕事に携わる機会があるため、新しい仕事に就くときは苦勞の連続だと思います。そのときは必死なので、いつか自分の糧になるとは考える余裕もなく、その日その日乗り切ることで精一杯という感じです。それでも、後になって振り返ると良い経験をさせていただいたことには感謝しています。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 一つ目は自分なりの発想を大切にしています。例えば、今まで当たり前に行ってきた仕事でも、自分ならこれをやってみる、こう変えてみるといった視点を常に持つように心掛けています。二つ目は「チームでやる」ということを意識しています。チームの力がひとつになって取り組んでいる時に最高のパフォーマンスが生まれると考えているからです。



Message #10

所属：村山公共職業安定所
求人・専門援助部門
統括職業指導官
採用：平成18年度



Q. 山形労働局を志望した理由を教えてください

A. 官庁合同説明会で、当時の山形労働局の人事担当の方に労働局の仕事について質問した際、障害者の就職支援の話を知りました。その話を聞き、働きたいという思いがあれば障害の有無に関わらず誰もが力を発揮できる社会になってほしいと感じ、自分もそのような支援に携わりたいと思いました。また、公務の中でも特に直接国民にサービスを届けられる点に大変魅力を感じ、山形労働局を志望しました。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 3人の子供を育てながら働いています。家事は夫と分担し、学校行事や子供の体調不良の際は相談してどちらかが休みを取って対応しています。家族の協力はもちろんですが、職場も「お互い様」の気持ちで助け合って働ける環境です。自分がフォローしてもらうこともあればフォローに回ることもあります。常に感謝の気持ちを伝えるよう心がけています。

Q. 皆さんへメッセージをお願いします！

A. 今はたくさんの選択肢の中からどのような職場を選ぶか迷っておられる方も多いと思います。ぜひたくさんの職場を比べて、自分の働く姿をイメージしてみてください。その中で、もし山形労働局を選択していただけたら、大歓迎いたします。一緒にスキルアップしながら、山形の「働く」みなさまを支えていきましょう！

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 私たちは「働く」ことを支える行政です。世の中の人々の「働く」目的は、収入を得ることだけでなく、自身の成長や社会の中での存在価値を感じることにあります。また、フルタイムで働いた場合、1日の約3分の1は仕事の時間です。このように人生の大きな割合を占める「働く」ことを皆が安心して継続できるよう、仕事を探す人、働く人、企業を支え援助できることが、労働局で働く大きなやりがいであり魅力です。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. 求職中の方や事業所の方と接する際は、相手が何を求めているのかを丁寧に聞き取り、分かりやすく伝えることで、安心して相談できる関係づくりを大切にしています。また、不明な点があれば曖昧にせず、自ら調べたり周囲に確認しながら正確な対応を心がけています。忙しい毎日ですが、同僚や部下とのコミュニケーションは積極的に取り、風通しの良い職場となるよう努めています。



Message #11

所属：新庄公共職業安定所
所長
採用：平成6年度



Q. 山形労働局を志望した理由を教えてください

A. 山形で人の役に立てる仕事をしたい、という理由で公務員を目指しました。国の機関でありながら、必要とする人を分け隔てなく直接支援する仕事に魅力を感じたことと、働いている自分の姿を具体的にイメージすることができたので、労働局を希望しました。

Q. プライベートとの両立はできていますか

A. 妊娠・出産・育児は自分でコントロールできないことが多いので、仕事との両立は簡単ではありません。それでも仕事を続けていられるのは、職場の皆さんの理解とサポート、そして家族の協力があったからです。また、家庭と仕事の両立に奮闘する先輩方を間近で見てきたので、「私も頑張ろう」と思えました。

Q. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

A. 「支援した方の就職が決まった」「説明がわかりやすいと喜んでいただけた」など、日々の業務の中に小さなやりがいはたくさん見いだすことができます。また、イベント開催などの業務は、時間をかけて周囲と調整を図りながら準備を進めるので、多くの方の就職に繋がったときの達成感はとても大きいです。

Q. 他の仕事との違いはどんなところですか

A. どの業務も、働く人と働きたい人と地元の企業を支えることに繋がります。初めは「点」で覚えた仕事も、経験を積むことで「線」になり、やがて「網」のように広がっていくことを実感できます。また、仕事と家庭の両立やハラスメントの防止などに対する、職員一人一人の意識の高さは、他に負けないと思います。

Q. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

A. かつて「公務員には“cool head but warm heart”が必要だ」と教わりました。直接人と関わる時は、心だけが熱くなり過ぎないように“cool head”で考え、書類の審査や決裁のときは、事務的になり過ぎないように、書類の向こう側にいる人を想像し“warm heart”で捉えるようにしています。

《 人事担当者から皆さんへ 》

◎ 年次休暇（有給休暇）取得状況について

労働局では年次休暇の目標年間取得日数を**16日**以上としています。令和7年に年次休暇を年間**16日**以上取得している職員は全体の**8割以上**です。

月1日以上の子年次休暇取得を目指しているため、職員同士がお互いサポートし、年次休暇を取得しやすい環境となっています。

◎ 育児休業取得状況について

令和7年の育児休業取得率は**100%**です。女性職員、男性職員ともに育児休業を取得しています。男性の取得率100%は珍しく、意識の高まりや取得しやすい職場環境があります。また、育児休業後の職場復帰率も**100%**です。

◎ 定時退庁日の徹底について

毎週水曜日を全省庁、金曜日を厚生労働省独自の定時退庁日とし、各職員に**定時退庁**を呼びかけています。当然、定時退庁日以外にも勤務時間以内に業務を終了していれば、**定時退庁**することができます。

所属や部門によって、忙しい時期等は超過勤務を行うこともありますが、メリハリをつけて仕事に取り組み、ワークライフバランスの確保に努めています。

※**定時退庁**とは… 超過勤務（残業）をしないで、終業時刻後すぐに帰ること。

職場の皆さんはとても暖かく、わからないこともちゃんと聞ける、雰囲気の良い職場です♪

仲間と支え合いながら進めていくのが、私たちの仕事です。労働局は、そんなチームワークの良さが大きな強みです。

山形労働局は、休暇が取得しやすく、プライベートを大切にしながら、無理なく長く働ける職場だと感じています。

山形労働局広報係の「ヤッピー」です！ 私たちと一緒に働いてみませんか？



広報係 ヤッピー
（キムラッピー）

人事係 木村 晃大
（採用：平成29年度）

人事係長 梅木 信和
（採用：平成13年度）

人事係 溝越 彩か
（採用：平成31年度）



**山形労働局で皆さんと一緒に
働ける日を楽しみにお待ちしております！**



山形労働局



山形労働局ホームページ
QRコード

問い合わせ先

〒990-8567

山形市香澄町3-2-1 山交ビル3F

山形労働局総務部総務課人事係

担当：梅木・木村・溝越

TEL023-624-8221

